

学校法人 専修大学 12年度決算概要

学校法人専修大学の2012年度決算は、5月29日開催の理事会・評議員会で承認され、確定した。

本法人は、「21世紀ビジョン―社会知性の開発」を達成するために、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭に、大学運営に取り組んでいる。12年度は、東日本大震災に伴う対応、教育・研究力の強化、教育研究環境の整備、学生支援の充実、知の発信及び社会地域貢献の推進等に注力した。

専修大学及び石巻専修大学は、東日本大震災により被災した学生に対する学費減免特別措置や被災者支援スカラーシップ入学試験を実施し、被災した志願者には13年度全入学試験において入学検定料を免除した。激震地であった石巻専修大学では、11年4月に発足させた「復興共生プロジェクト」が、宮城県や石巻市等と連携しながら、防災と復興に係る諸事業を機動的に展開し、地域とともに復興を目指している。

専修大学は、生田キャンパスで開講していた法学部1

年次(一部)の授業を、神田キャンパスで展開させた。これにより、全学年の法学部生が、神田キャンパスで学ぶこととなり、大学院・法科大学院を含め、すべての法学教育機能が、神田キャンパスに集約された。キャリア教育については、文部科学省公募の12年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に連携申請した「首都圏に立地する大学における産業界のニーズに対応した教育改善」が選定され、これにより、キャリア教育体系化プロジェクト及びリーダーシップ開発プロジェクトを立ち上げた。法科大学院は、独立行政法人大学評価・学位授与機構による12年度法科大学院認証評価を受審し、適合の認定を受けた。

研究力の強化については、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に選定された研究プロジェクトをはじめ5つの研究拠点を展開させた。また、科学研究費助成事業の新規課題採択率が56.7%となり、文部科学省の公表資料によると全研究機関中2位、私立大学

では1位という高率になった。キャンパスの整備については、「新神田5号館(仮称)」と「国際交流会館(仮称)」の建設に着手した。

石巻専修大学は、新学部の設置及び理工学部の改組に係る準備を進め、13年度から新たに「人間学部(人間文化学科・人間教育学科)」を設置する。これにより、石巻専修大学は、3学部7学科構成となる。教育の質保証に向けた取り組みとしては、厳格な成績評価を徹底するために、GPA制度を試行導入したほか、12年度入学学生には、単位制度の実質化を図るためキャップ制を導入した。大学の特色のひとつである地域連携・貢献については、石巻市と「大規模災害時の連携に関する協定」を、石巻市・気仙沼市の商工会議所及び信用金庫と「三陸産業再生ネットワーク連携協定」を締結した。今後も地域との連携・共生を推進し、復興と再生、そして発展に寄与していく。

1 資金収支計算書

収入の部では、当年度収入合計が予算比0.50%増の280億5639万円(前年度比では11.22%増)となり、前年度繰越支託資金を加えた収入の部合計では、予算比0.37%増の375億1705万円となっている(前年度比では6.98%の増)。

支出の部では、当年度支出合計が予算比1.84%減の288億9833万円(前年度比では12.85%の増)で、次年度繰越支託資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み86億1871万円となっている(前年度比では8.90%の減)。

(1) 収入の部

① 学生生徒等納付金収入は、予算比0.10%増の194億7594万円(前年度比では4.06%の減)。最終在籍者が専修大学で1万9350人、石巻専修大学で15

② 手数料収入は、予算比8.99%増の10億6196万円(前年度比では7.08%の減)。このうち、入学検定料収入は、予算比8.99%増の10億2357万円(前年度比では7.18%の減)。入学志願者数が予算と比べ専修大学で3505人の増、石巻専修大学で73人の増となっている。

③ 寄付金収入は、予算比28.09%増の1億5370万円(前年度比では51.15%の減)。差異は、東日本大震災により被災した学生に対する支援金の増等による。

④ 補助金収入は、予算比3.76%減の20億8359万円(前年度比では23.12%の減)。このうち、国庫補助金収入は、

予算比3.78%減の20億7092万円(前年度比では23.13%の減)。内訳は、経常費補助金が18億6028万円(前年度比では20.63%の減)、研究設備補助金が1036万円、教育研究装置補助金が1億3802万円、施設高度化利子助成金が1244万円、大学改革推進等補助金が6102万円となっている。

⑤ 資産運用収入は、予算比39.38%増の2億5228万円(前年度比では8.93%の増)。このうち受取利息・配当金収入は、予算比96.67%増の1億7378万円(前年度比では51.35%の増)。

⑥ 資産売却収入は、固定資産売却収入で、車両の売却による。

⑦ 事業収入は、予算比3.30%減の5億1623万円(前年度比では17.98%の増)。差異は、留学プログラム事前研修受講者減、伊勢原セミナーハウ

費、教育実習謝礼等の減

③ 管理経費支出は、予算比4.12%減の17億3368万円(前年度比では5.18%の増)。

④ 借入金等返済支出は、予算どおりの2209万円。

⑤ 借入金等返済支出は、予算どおりの返済で7億8776万円。

⑥ 施設関係支出は、予算比1.59%減の40億1209万円(前年度比では610.60%の増)。このうち建設仮勘定支出は、神田5号館(仮称)、国際交流会館(仮称)、生田新体育寮・新体育館(仮称)新築工事費計上額の減。

※⑥の主な内容については、後記の「主な施設等整備事項」に記載。

⑦ 設備関係支出は、予算比5.61%増の5億9839万円(前年度比では17.16%の増)。

このうち、教育研究用機器備品支出は、予算比10.02%増の3億5784万円、差異は、自然科学実験室実験用具、生田8号館教室プロジェクト

2 消費収支計算書

消費収入の部では、帰属収入合計(学校法人の負債とならない収入)が予算比0.91%増の24億4741万円となっている(前年度比では7.42%)(19億5910万円)の減)。基本金組入額合計が、予算比2.88%減の52億5274万円(前年度比では401.07%の増)となり、消費収入の部合計は、予算比2.00%増の191億9467万円(前年度比では24.31%)(61億6353万円)の減)となった。

基本金組入額合計の内訳は、第1号基本金52億5266万円の組入(当年度取得資産及び借入金返済等の組入額)、第2号基本金(当年度書と共通の科目がある組入額なし)(将来取得する固定資産の取得に充てる預金等の資産の組入額)第3号基本金8万円の組入(校友会研究奨励

① 人件費は、予算比0.11%減の143億311万円(前年度比では2.54%の減)で、退職給与引当金繰入額7億9091万円を含んでいる。

② 教育研究経費は、予算比0.73%減の83億6975万円(前年度比では3.13%の減)で、減価償却額2億7175万円を含んでいる。

③ 管理経費は、予算比3.63%減の19億5044万円(前年度比では2.97%の増)で、減価償却額2億1676万円を含んでいる。

(1) 消費収入の部

① 寄付金は、予算比19

① 石巻専修大学新学部の開設に伴う設備品等の増

② 資産運用支出は、予算比54.77%減の1億6508万円(前年度比では86.54%の減)。

退職給与引当資産への繰入支出が5000万円、法人基金準備資産への繰入支出が1億1500万円となっている。

⑨ その他の支出は、前期末未払金支払支出、前期末未払金支払支出、前期末未払金支払支出等21億6336万円。予備費の使用額は、また、資金支出調整勘定(支出の振替控除科目)は、期末未

① 新学部開設に伴う施設改修② 4号館3階間仕切り壁増設

③ 97%増の3億2402万円(前年度比では37.72%の減)。

この中には、現物寄付金等が含まれている。

内訳

受贈および編入図書1億5138万円

その他の受贈資産1893万円

(2) 消費支出の部

① 人件費は、予算比0.11%減の143億311万円(前年度比では2.54%の減)で、退職給与引当金繰入額7億9091万円を含んでいる。

② 教育研究経費は、予算比0.73%減の83億6975万円(前年度比では3.13%の減)で、減価償却額2億7175万円を含んでいる。

③ 管理経費は、予算比3.63%減の19億5044万円(前年度比では2.97%の増)で、減価償却額2億1676万円を含んでいる。